

三到図書館 ニュース

- 📖 オンライン・データベースを使おう！
- 📖 図書館リニューアル報告
- 📖 インドネシアの大学図書館事情
- 📖 付録：2003年度図書館統計



OBIRIN UNIVERSITY LIBRARY

自宅の前に新幹線の駅ができたら……

経済学部教授 堀 潔



メディアは「紙」から「画面」へ

一昔前と比べると、いい悪いは別にして、我々の生活の中で「画面」を見る時間が増え、「紙」を見る時間が減った。通勤・通学の電車の中で、20年前（私が学生だった頃）は皆、新聞・雑誌・文庫本を読んでいた。いま、目立つのは携帯電話のディスプレイを見る人々だ。仕事の場面でも、パソコンの画面に向かう仕事は増えている。部署内での情報伝達は「メモ」（＝紙）ではなく「メール」（＝画面）が当たりまえである。私も、隣のオフィスの同僚が在室とわかっていてもメールで用件を伝えることが、よくある。

「情報データベース」としての図書館

過去2000年以上もの間、情報を記録・蓄積し人々に広く伝播させる媒体として、「紙」は有力な手段であった。そして図書館は、書籍・新聞・雑誌などの「紙」情報が整理され蓄積されている、いわば「紙情報のデータベース」であったはずだ。

そのことの意義は、おそらくこれからもなくなることはない。ただし、現在すでに進行中の「紙」から「画面」へのメディア転換にも、当然、図書館は何らかの対応を迫られる。紙情報だけが情報ではなくなったからだ。

オンライン・データベースは「夢のよう」

本学図書館でも、“学内専用データベースサービス”と称して、様々な外部のオンライン・データベースを特別な料金なしで利用できるサービスを近年急速に拡大してきている。

15年ほど前、私がまだ大学院生だった頃、中小

鉄鋼メーカーの動向を20年ほど遡って調べたことがあるが、当時まだデータベースは高価で使えなかった。新聞の縮刷版20年分の巻末索引をひとつひとつチェックし、該当記事を見つけてはコピーする、という作業を1ヶ月間毎日繰り返した。そのことを思えば、今日のオンライン・データベースは「夢のよう」な便利さで、私にとっては“ご愛用”のサービスである。

しかし、この“学内専用データベースサービス”を知っている学生はどれほどいるのだろうか。授業のリポートや卒論の作成に利用している学生となれば、それはほぼ皆無であると思われる。

あまりにもったいないので、ついに今年度は手作りの教材を作成し、1年生に「オンライン・データベースの使い方」を指導してしまった。

自宅の前に新幹線の駅ができたら……

福岡出身の私の友人は、いまから34年前、大阪で万国博覧会が開かれたとき、博多から夜行の急行電車で10時間以上かけて大阪に万博を見に来たという。いまでは新幹線で2時間半。「当時を思えば、いまは夢のようだ」と彼は話す。

パソコンやインターネットの普及した現代は、それがなかった頃に比べれば、まさに「夢のよう」である。先の例に例えれば、新幹線網が整備され、自宅の前に新幹線の駅があるようなものである。せっかく便利なものがあるのなら「乗ってみよう！」「使ってみよう！」という“ほんの少しの好奇心”が新しい世界を見せてくれることを、もう少し多くの学生諸君に知ってもらいたい、と思う。

図書館がリニューアルしました!!

図書館本館の耐震工事がおこなわれました！

夏休みの7月30日～9月12日の約45日間をかけて、図書館本館の耐震工事がおこなわれました。より大きな地震にも耐えられる建物になったそうです。耐震工事とはどのような工事だったかという、館内に新しく壁を作り、場所によっては外側の窓を壊して新しく壁を作りました。かなり大規模な工事となりました。

外階段に取り付けられた車椅子用のリフト



耐震工事にあわせて、各階のトイレの改装もおこなわれました。また、身障者用のトイレも設置され、車椅子用のリフトが外階段に取り付けられたため、車椅子の方も図書館本館を利用しやすくなりました。他にも、図書館入口は自動ドアに、階段と2F・4F・6Fの通路にはカーペットが敷かれましたので、防音効果を期待しています。見えないところでは屋上の防水シートが張りなおされました。細かいところでは壁やドアのペンキの塗り替えなどなど、とてもたくさんの箇所が修繕されました。

耐震工事で大変だったところは、「工事は騒音、振動、埃は避けられず、またコンクリートを入れるために水を使ったりもするので図書館の本や様々な物品を汚さないようにやるということに、とても気を使った。」(戸田建設の鈴木さん談)ということでした。実際に工事が終わって、本や閲覧席など図書館中に埃が積もっていたため、清掃作業をおこなうことになりました。そのために、本館の開館が遅れ、利用されるみなさんには大変ご迷惑をおかけしましたが、なんとか授業開始日に開館することができました。

工事中の図書館



今回、この耐震工事に伴って、工事期間中は図書館本館を休館することになりましたが、この期間におけるサービスの対応策として、長期貸出期間にあわせて図書の貸出冊数を倍にしました。また、例年夏休み期間中、分館は休館しているのですが、今年は代わりに分館を開館し、図書の貸出・返却も分館で受け付け、貸出の希望があった場合は、毎日10時と15時に工事中の本館に職員が本を取りに出かけました。

ついでに、もう一つご報告。今年から大学院通信教育課程が始まりましたが、8月20日から24日までスクーリングがおこなわれました。実はこの期間、図書館は夜の9時まで、そして日曜日も開館していたのですよ。ご存知でしたか？

自動ドアになった図書館入り口



館内にも壁ができました



▶ 入館ゲートが新しくなりました！

本館の入館ゲートが新しくなりました。学生証をスライドさせて入館する方法は従来どおりですが、以前のものより読み取り易くなりました。こちらにカードを通すことによって、入館が記録され、図書館の入館者数の統計などを出すことができます。図書館に入館の際は必ず学生証をご持参ください。



この機械にカードを通して下さい

▶ 指定図書の棚も新しくなりました！

指定図書コーナーの書架も新しく変わりました。指定図書は先生が授業で参考にしてほしい本として指定されたものです。先生の名前のアルファベット順に並んでいます。また、指定図書コーナーだけでなく、一般書架にも同じ本が所蔵されていることが多いので、利用の際はかならずOPACで検索をおこなってください。



指定図書コーナー（3Fカウンター前）

▶ 岩波文庫が入ります！

岩波文庫約1,400冊が新しく5F新書コーナー改め「文庫・新書コーナー」に入りました。ぜひ、ご利用ください。

▶ 図書館のパソコンを更新しました！

図書館ではこの夏に、端末用パソコンを更新しました。今回の更新では、省スペース型のPCを採用したことにより、以前よりもメモなどを書くスペースが増えました。また、フリーアクセスPCも更新によって、FDだけではなく、要望の多かったUSBメモリが使えるようになりました。

【OPAC検索専用PC】（蔵書検索やオンラインデータベースの検索ができます）

本館3Fホール10台、1Fと5Fに各1台 計12台（印刷不可）分館5台（印刷可）

【DLS専用PC】（蔵書検索の他にCD-ROM資料が利用できます）

本館3F 4台（印刷可）分館・メディア室 各1台（印刷可）

【フリーアクセスPC】（OfficeXP<Word, Excel, PowerPoint>が使えます）

本館3F・分館・メディア室 各3台（要利用申し込み・印刷可）

パソコンの更新の他に、サーバの処理能力向上により、従来深夜0時からおこなっていた図書館システムの夜間処理を数時間遅らせ、深夜0時を過ぎても図書の予約や文献複写の申し込みができるようにする予定です。また、蔵書検索システムを携帯電話に対応させ、蔵書検索・利用・予約状況の確認・貸出中の図書の予約ができるようにする予定です。

今後も図書館では、オンラインサービスの追加や利便性の向上を図っていきますが、何かお気づきの点やご要望などがありましたら、図書館までお伝えください。



すっきりした検索コーナー

～こんなにたくさんの箇所がリニューアルされましたが、みなさんはいくつ気づきましたか？～

外部別置（がいぶべっち）について

図書館の蔵書数は、現在約42万冊です。このうち約12万冊を外部の倉庫業者に預けています。これを外部別置と呼んでいます。現在の図書館の収容能力は約35万冊です。このため、収容能力を超えた1997年に第1回の外部別置をおこない約5万冊の資料を預けました。図書館資料は毎年約1万冊ずつ増加しています。再び書架が不足したため、2002年には第2回の外部別置をおこない約6万冊の資料を預けました。古いものや、利用頻度の低いものを中心に選別して預けています。今年6月末には3回目となる外部別置をおこないました。今回は、夏の耐震工事の影響と資料の保護等を考え、1階にあった人類学関係のフォードコレクション、四庫全書・正統道蔵などの中国書、参考書など約1万冊を預けました。OPACの所在に「外部1」、「外部2」、「外部3」と表示されているこれらの資料を利用したい場合はカウンターで申し込んでください。週に2回デリバリー便が走っています。

今後も外部別置をしなければならない状況にあります。デリバリー便の回数を増やすなどして対応していきたいと思っております。利用者の皆様にはご不便をおかけすることも多いと思っておりますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

インドネシアの大学図書館見学

図書館 三 上 彰

学生時代にフィールド調査等でしばらく滞っていたことのあるインドネシアジャワ島を、9月初旬に約5年ぶりに訪れました。今年4月より、私立大学図書館協会の相互協力（紹介状による他大学図書館利用、文献複写等）に関する研究分科会に所属していることもあり、東ジャワ州マラン（Malang）市にある、国立大学のブラウイジャヤ（Brawijaya）大学と私立大学のメルデカ（Merdeka）大学の図書館を見学し、図書館の概要や、相互利用、レファレンス業務等の図書館サービスについてたずねてきました。



キャンパス内に林立する大きな椰子の木と、図書館の入口付近

今回は、Brawijaya大学図書館について紹介したいと思います。Brawijaya大学は、理工系学部、農学部、法学部、経済学部等を持つ総合大学で、広大なキャンパスの中には道路沿いに大きな椰子の木が並んでいます。図書館はキャンパス内の中心部にあり、建物は2階建てですが、手入れの行き届いた中庭を囲むように回廊状になっていて、書架や閲覧席もゆったりしていてフロアは広く感じられました。1階にリザーブブック、レファレンスブック（辞書、辞典、年鑑、統計資料など）、レファレンスコーナー、カフェテリアがあり、2階に一般図書、雑誌、新聞、修士論文等が置かれています。

学生数は約32,000人（うち大学院生は約1,600人）、教員数は約1,500人で、図書館の来館者数は1日平均約1,600～2,000人とのことです。蔵書数は、図書が約170,000冊（約60,000タイトル）、雑誌は約2,000タイトル（約8,500冊）。5年前はカード目録を用いていましたが、現在では書誌・所蔵データはほぼすべてOPACに入っているとのこと

で、Webを通して世界中どこからでも検索可能（Brawijaya大学図書館のURLは、<http://www.digilib.brawijaya.ac.id>）です。またオンラインジャーナルの導入もおこなわれています。参考までに、大学内にあるインターネットセンターは24時間オープンで、夜中でも学生の利用があるとのこと。入館時はIDカード（磁気カード）を読み取り機にかざして入り、IDカードで貸出手続きも可能です。資料の分類はDewey Decimal Classification (DDC) Systemを用いているとのこと、配架は、インドネシア語と、英語など外国語のものも混配されていました。

相互利用に関して、図書館にない資料の利用については、図書館発行の紹介状を持参すると、他大学図書館を利用することが可能（日本のシステムとほぼ同じ）で、Brawijaya大学では、他大学学生でも紹介状を持参して来館すると、図書館利用のIDカードが発行され、貸出までできるそうです。また、学術雑誌等の資料の必要な部分のコピーを他大学図書館から取り寄せるという、日本の文献複写のような制度もありますが、まだ件数は少ないとのことでした。日本のWebcatのようなUnion Catalog（総合目録）がまだ整備されていないので、どこの図書館でどの資料を所蔵しているのかは、個々の大学のOPACで調べたり、それぞれの大学に電話で尋ねたりしているので調査に時間がかかるとのことでした。したがって、文献を入手できるまでの時間は、1週間～1ヶ月くらいまでまちまちであるとのことでした。図書館カードは即日発行可能で、色々とお話を伺っているうちに、私の分の図書館カードもつくってくれました。このカードは今回の見学のお土産となりました。



貸出・返却カウンターと、図書館のスタッフたち。カウンター手前が、図書館長のWelmin（ウェルミン）さん。

2003年度 図書館統計

(2003.04.01～2004.03.31集計)

図書館の資料は日本十進分類法(NDC)によって、主題別に分類され付された請求記号によって並べられています。それぞれの分野は次のような内容になっています。

- | | |
|------------------------|----------------------------------|
| 0 総記 (図書館、書誌学、百科事典、叢書) | 1 哲学 (哲学、心理学、倫理学、宗教) |
| 2 歴史 (歴史、伝記、地理、紀行) | 3 社会科学 (政治、法律、経済、統計、社会、教育、民俗、軍事) |
| 4 自然科学 (数学、理学、医学) | 5 技術 (工学、工業、家政学) |
| 6 産業 (農林業、水産業、商業、交通) | 7 芸術 (美術、音楽、演劇、体育、諸芸、娯楽) |
| 8 言語 | 9 文学 |

今回は、昨年度に貸し出されたそれぞれの分野の貸出冊数と貸出ベスト3をご紹介します。

各分野の図書貸出冊数と貸出率

	総記 (0)	哲学 (1)	歴史 (2)	社会科学 (3)	自然科学 (4)	技術 (5)	産業 (6)	芸術 (7)	言語 (8)	文学 (9)	合計
和書	940	4710	3122	15594	2021	1496	1492	2587	4167	4816	40945
洋書	1	64	209	502	23	26	21	110	276	312	1544
中国書	17	17	78	70	0	3	7	3	36	357	588
合計	958	4791	3409	16166	2044	1525	1520	2700	4479	5485	43077
貸出率	2%	11%	8%	38%	5%	4%	4%	6%	10%	13%	

コメント：社会科学の分野の利用が高いことがわかります。図書館ではこのような利用の高い分野の資料を充実させるなど、利用状況も図書の選書に反映させています。

各分野の貸出ベスト3

総記(0)	請求記号	書名	貸出回数
1位	010.8/G16/(2)	学校図書館メディアの構成(学校図書館実践テキストシリーズ:2)	9回
2位	010.8/G16/(3)	学校経営と学校図書館(図書館実践テキストシリーズ:3)	8回
3位	007.64/Ta55/S	最新C言語がわかる	7回

哲学(1)	請求記号	書名	貸出回数
1位	140.8/F44/1	夜と霧 新版	12回
2位	141.33/Sh67/G	学習心理学への招待:学習・記憶のしくみを探る	11回
3位	140.7/To72/S	心理学のための実験マニュアル:入門から基礎・発展へ	9回

歴史(2)	請求記号	書名	貸出回数
1位	289.1/Sh49/Y	朝陽門外の虹:崇貞女学校の人びと	11回
2位	289.3/D78/T	ウォルト・ディズニー:創造と冒険の生涯	9回
2位	290.9/Ta12/(5)	韓国:韓国語(ここ以外のどこかへ!旅の指さし会話帳:5)	9回

社会科学(3)	請求記号	書名	貸出回数
1位	319/I96/G	グローバリゼーションの現在	13回
1位	389.1/B35/H	菊と刀:日本文化の型定訳	13回
3位	311.3/A46/S	想像の共同体:ナショナリズムの起源と流行	12回

自然科学(4)	請求記号	書名	貸出回数
1位	493.49/L45/S	ストレスの心理学:認知的評価と対処の研究	9回
2位	493.74/Y45/K	拒食症と過食症:困惑するアリスたち	8回
2位	493.12/O37/T	体脂肪:無理せず減らして健康的にやせる 余分な体脂肪を効果的に燃やして肥満を解消し生活習慣病を予防する食事、運動、生活改善の得最新情報	8回

各分野の貸出ベスト3

技術(5)	請求記号	書名	貸出回数
1位	519/C22/C	沈黙の春：生と死の妙薬	8回
2位	519/Sa67/T	手にとるように環境問題がわかる本：人は、企業はどう変わるべきなのか？	7回
2位	519.13/E59/N	21世紀環境経営とコミュニケーション	7回

産業(6)	請求記号	書名	貸出回数
1位	689.3/N84/T	東京ディズニーリゾートの謎	12回
2位	689.04/Mo55/J	持続可能な観光と地域発展へのアプローチ	11回
2位	689/B32/E	エコツーリズム教本：先進国オーストラリアに学ぶ実践ガイド	11回

芸術(7)	請求記号	書名	貸出回数
1位	780.7/Ta33/S	その気にさせるコーチング術：コーチと選手のためのスポーツ心理学活用法：選手の実力を引き出す41の実践法	10回
2位	780.8/Y61/(2)	スポーツ心理学	9回
3位	780.14/Ta33/K	勝ちにいくスポーツ心理学：心を強く鍛えるための15の「理論」と「実践法」：必ず効果を上げるメンタル強化法をわかりやすく教えます。	8回

言語(8)	請求記号	書名	貸出回数
1位	816.5/Y86/D	大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方	18回
2位	833.2/Ki17/S	新グローバル英和辞典	10回
3位	820.8/C62/(1)	中国語学の基礎知識	9回

文学(9)	請求記号	書名	貸出回数
1位	913.6/W47/I	インストール	21回
2位	913.6/Y91/H	ハゴロモ	18回
3位	913.6/Y91/K	キッチン	16回

コメント：文学以外は、授業で課題となった本の利用が高いようです。指定図書コーナーにも同じ本が所蔵されていて、その利用も合わせると実際にはもっと貸出の多い本もありますが、今回は、一般書架上に並べられているものだけを統計の対象にしました。

2004年度前期

図書館ガイダンス報告

新入生を対象に例年実施している「図書館ガイダンス」は、図書館の概要や資料の検索方法について図書館職員が説明をおこないます。先生からの申し込みによって、授業時間に、本館、分館、情報メディア室の各館のツアー形式でおこなわれ、参加者のみなさんには実際に検索もしていただきます。今年度（2004年度）は、昨年度（2003年度）よりかなり実施回数が増えました。

学部	実施クラス	参加人数
国際	23	271
経済	10	185
B M	6	98
言コミ	8	57
健心	1	12
短大	1	8
PFC(留学生)	7	90
合計	56	721

実施期間：2004年4月20日(火)～7月22日(木)

実施回数：全51回(56クラス)

延べ参加人数：721人

昨年度は、国際22回、経済6回、BM1回、健心1回の合計30回であったため、今年度は1.7倍増となりました。言コミの調査研究法の授業でガイダンスの利用が増えたこと、日本語の授業を受けている留学生のクラス(PFC)からの依頼があったことなどが、増加の理由として考えられます。

この図書館ガイダンスは春学期だけでなく、随時受け付けをしています。また、個人で参加できる「情報検索ガイダンス」(蔵書検索、データベース検索など資料の検索方法や図書館の各種利用方法についてご希望の内容で説明します。)も随時申し込みを受け付けていますので、ぜひご利用ください。